

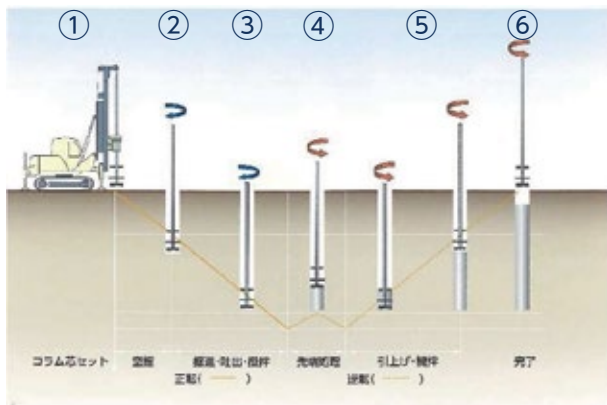
## ●柱状改良(深層混合処理工法)について

この工法は、現地の軟弱地盤をセメント系固化材を使用して、円柱状の改良体(コラム)を造り、地耐力をアップする地盤改良工法です。



### 特長

- ・ 現地の土砂との混合攪拌する工法である為、残土の発生が少ない
- ・ 施工現場に合わせて様々な施工機械が選択でき、現場スペースが杭打ち工事より狭くても施工可能
- ・ 作業工程がシンプルで施工能率が高い
- ・ 杭では支持出来ない中間層や、支持層が浅い場合は、杭工事よりかなり経済的となる



### ■標準施工手順

- ① コラム芯セット
- ② 所定の深度まで空掘掘進します。(空掘が必要な場合)
- ③ 貫入速度と固化材スラリーの吐出量を所定量に保ちながら掘進攪拌。
- ④ 所定の施工深度に到達したら改良先端の攪拌を入念に行います。
- ⑤ 所定の速度で引き上げ攪拌を行います。
- ⑥ 柱状体が固化し、良好な支持基盤になります。

建築・土木の様々な分野で活躍しております。  
価格につきましては、設計の都度見積致します。